

(臨床研究に関する公開情報)

大分大学医学部附属病院では、京都大学を中心とした下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 肝胎児性肉腫の原因遺伝子解析

[研究責任者] 梅田 雄嗣 京都大学医学部附属病院 小児科 講師

[大分大学の研究責任者]

末延 聡一 大分大学 大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業(小児科) 教授

[研究の目的]

この研究の目的は、肝胎児性肉腫やその類縁疾患である肝間葉系過誤腫^{かんかんようけいかごしゆ}に特徴的な遺伝子変異や生物学的特性を知ることにより、新しい治療法を開発することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さんと研究方法

小児あるいは成人の肝胎児性肉腫、肝間葉系過誤腫の患者さん

主には組織や細胞などの検体に含まれるDNAやRNAという物質を取り出し、正常細胞と比較しながら遺伝子の構造や発現量を解析します。調べる対象は、全ての遺伝子です。さらに、試験管内培養や免疫不全マウスを使用して治療法の開発なども行います。

●利用する検体、カルテ情報

検体：血液・頬の粘膜・手術検体・過去に取り出された腫瘍組織の病理標本など（診療または他の研究で使用した余りの検体で、この研究のために新たに採取することはありません）

カルテ情報：診断名、年齢、性別、治療経過、血液検査など

以上をこの研究の研究代表施設へ送り解析します。

[研究実施期間]

2020年8月31日から2024年7月8日までです。

[個人情報の取扱い]

利用する検体、情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果はデータベース、学会や学術雑誌上で発表されますが、その際も患者さんを容易に特定できる個人情報は明らかになりません。

[利用する検体、カルテ情報の保存について]

研究に関わる書類やデータ、検体は厳重に保管します。この研究が終了したあとで血

液やDNAが残った場合、将来の研究に使用することを目的に長期保存します。また、カルテ情報も同様に長期保存します。今後、将来の別の研究への使用を望まない場合は「問い合わせ先」へご連絡下さい。

[研究資金・利益相反について]

この研究は国立研究開発法人日本医療開発機構の革新的がん医療実用化事業により実施しますので、大分大学の研究資金は特に必要ありませんが、必要になった場合は大分大学医学部小児科学講座および大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業の基盤研究経費を使用します。そのため患者さんが費用を負担することはありません。「利益相反」とは研究に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反」は発生しません。

[問い合わせ先]

大分大学 大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業（小児科）
末延 聡一（すえのぶ そういち）

連絡先：TEL 097-586-5833

京都大学医学部附属病院 小児科 梅田 雄嗣

連絡先：TEL 075-751-3297

[病院の相談窓口]

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

連絡方法：075-751-4748

E-mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp